

環境方針

2025 年 1 月

Version4.0

SDPI 作成方針

三好化成グループは、事業活動を行う国や地域の環境に関する法律を遵守して事業を行っています。

また法令遵守はもちろん、地域社会と調和して環境保全に率先して取り組んでいます。

私たちは、サプライチェーン全体における環境保護の活動をステークホルダーと協力して推進していきます。潜在的な環境への悪影響を防止・軽減し、その成果を測定可能な方法で進めていきます。また、リスクの根本的な原因を改善できない場合には、代替となる持続可能な解決策の実施を検討します。

この方針の目的は、私たちの環境保全への姿勢とその活動を明らかにすることです。

雇用形態を問わず三好化成グループの全従業員がこの方針に基づいて行動します。

1. GHG 排出量

CDP（カーボンディスクロージャープロジェクト）- 2013 年よりサプライチェーン報告書を毎年提出し、主たる活動、および CO2 排出量を開示しています。スコープ 1（直接排出量）と 2（間接排出量）、および環境への影響を最小限に抑えるための取組みについて説明しています。

三好化成グループは、科学に基づいた目標設定(SBTi)に沿って、明確で測定可能な温室効果ガス(GHG)削減目標を掲げ、環境保全に取り組んでいます。

三好化成グループの目標：

- 2018 年を基準年とし 2030 年までに、スコープ 1 および 2 の GHG 排出量を 50%削減します。
- 2023 年を基準年とし 2035 年までに、スコープ 3 の GHG 排出量を 30%削減します。

2. 水資源

CDP（カーボンディスクロージャープロジェクト）- 水資源報告書を毎年提出し、水資源に関するリスク評価、水の消費量、主な取組みを報告しています。取水と放水について各地域の規制に従って管理されています。

水資源に関連するリスク評価および水資源戦略に基づき、2030 年末までに取水量を30%削減することを目標としています。

3. 生物多様性

当社は化粧品規制に従い、動物実験を禁止しています。

私たちの活動地域の騒音と粉塵のレベルをモニターし、環境への影響を最小限に抑えるよう努めます。

植物由来原料のサプライチェーンにおいて、森林破壊のリスクを評価をし、リスクがあればその軽減に取り組みます。

4. 地域における公害防止

水質・土壌汚染の防止を目的とした、汚染物質の排出に関する規則があります。有害物質は、地域の規制に基づき取り扱われ、保管、輸送、廃棄されます。当社が扱うすべての有害物質には、最新の安全データシートが付けられています。

大気汚染に関しては、主要な汚染物質の排出量を測定し、地域の基準を遵守するよう監視します。

5. 資材、化学物質、廃棄物

私たちは、規制で要求される安全性レベルに則り化学物質の輸送・使用・廃棄を行います。すべての廃棄物は、法律に従い、その特性に応じて処理され、有害廃棄物、化学廃棄物、紙および段ボール廃棄物についてはそれぞれ分別して廃棄します。リサイクルの仕組みも取り入れており、特に紙と段ボールは再利用に回されます。

2025 年までに全事業所で有害廃棄物の管理・フォローを実施することを目標としています。私たちは2024 年までに廃棄物の80%が専用処理チェーンで処理されることを目指しています。

6. 顧客の健康と安全

情報を充分に開示し、顧客との健全かつ信頼できるコミュニケーションを構築します。法令や消費者関連の問題については常に注意を払い、必要に応じてアクションをとり、法令遵守と顧客への十分な情報開示を保証します。

私たちは、SDS やマテリアルインフォメーションデータシートをすべての顧客に提供し、顧客が製品の取り扱い、保管、廃棄の最も安全な方法を明確な形で提供します。

7. 環境への取り組み

原材料の選択、新プロセス開発、サプライヤーの選択、新建設プロジェクトなど、新しいプロジェクトまたは製品開発に際しては、環境への影響を精査した上で、あらゆる潜在的影響に対して最善のソリューションを選択します。例えば、現地調達、エネルギー節約型機器、リサイクル包装などです。2025 年までに梱包材に含まれる再生材の割合を 25%以上にすることを目指しています。

環境保全の責任者、CSR 責任者、またはこれらに携わるすべての従業員は、この方針を理解し遵守する責任があります。

この方針は、2 年ごとに、または必要に応じて見直されます。